

じゃりみち

…仮設支援情報…



第23号 発行日 1996. 7. 31

阪神・淡路大震災

「仮設」支援NGO連絡会

〒653 神戸市長田区御蔵通5-5

TEL: 078-578-6921 / FAX: 078-578-6923

E-mail: ngoteam@mb.osaka.infweb.or.jp

口座番号: 01180-6-68556 (郵便振替)

決団全体会のお知らせ

あおーい空がつづきます。脱水症状や熱射病に気を付けてくださいね。次回の全体会はお盆にあたってしまうため、1週間早めて行います。

8月7日(水) 18:30~20:00 ごめんなさい未定です。(まにあわなかった・・・)

きちんと決まったら連絡します。

前回の寺子屋報告

今回の仮設寺子屋は、情報交換が行われた後に、今話題になっている復興プログラムの公営住宅について、「兵庫県阪神・淡路大震災復興本部 都市住宅部住まい復興局 住まい復興推進課」の方に来ていただき、今の状況、今後の展開等をお話して頂きました。内容は、民間住宅対策(持家債権者支援策・民間賃貸住宅家賃負担軽減制度)も含めた「恒久住宅への移住のための総合プログラム」という資料を中心に進められ、災害復興公営住宅等の供給計画、公営住宅等の入居方法、家賃低減化対策、仮設住宅の期間延長など、資料に添った形で説明してもらい、そのあと質疑応答(時間の都合上)3、4つして終わりました。

- ・生活支援アドバイザーなどに対して、ボランティア、行政等との連携はなされているのか。：未回答
- ・仮設住宅の統廃合について：被災者の立場になって考えていきたい。各仮設団地の状況を見ながら考えていく。
- ・県、市営住宅にガスコンロ等の備品の設備がないので、仮設住宅で使っているものを持っていった方がいいのか。また、備品などに関しては、どの様に考えているのか。：半分以上はリースなので、返さなければいけない。有効な再利用を考えている。
- ・家賃の低減期間が5年間という根拠は。：国の方針。財政支援の裏づけなしでは不可能。しかし、こちらも5年後については考えていかなければ。というような話の流れになりました。

引き続いて行われたのが、我々が代表・村井雅清の「ハビタット2」報告です。

世界の動き、また世界中のNGOの動きというものを実際に肌で感じてきたという実感のこもった報告がありました。

「居住権」「NGO」とは一体何なのか、というテーマを掲げて、ハビタットにのぞんだ彼の意気込みというものがかひひしと伝わる内容でした。

そんなこんななのなかなか濃い内容の約2時間があっという間に過ぎてしまい、司会を今回初めて行った鈴木隆太も

(自分のシャベリは抜きにして)よかったと胸をなで下ろしています。

今後もこのように、行政とのパイプづくりを強化していけたら、その中で、もっと活動を通した着実な提言をしていく(じゃりみちの登場)隆太>

がしキは走る

(全国キャラバン日程表)

8/9~11	神奈川県 小田原市	まるたの森	パ・ネ・シホ	(村井・石井)
8/10	神奈川県 川崎市		講演会	(村井)
8/18	兵庫県 姫路市	大手前公園	がしキ・パ・ネ・シホ	
8/28	福井県 福井市	県中学サミット	講演会	(石井)
8/30~9/1	愛知県 名古屋市	グランドイ会場	がしキ・パ・ネ・シホ	(村井・石井・澤田・和布・りゅうた・ひかる)
9/6	広島県 広島市		講演会	(石井)
9/7	広島県 広島市		シホ・ジ・ム	(石井)
9/16	広島県 広島市		講演会	(石井)



ポカリスエット大作戦!!

また暑い夏がやってまいりました。仮設住宅に住んで居られる方々も、体力的にもしんどくなる季節です。

そこで、この夏、去年同様ポカリスエット大作戦を4団体の呼びかけで行いたいと思います。大塚製薬からの御厚意によりポカリスエットが送られてきます。この暑い夏、脱水症状等の危険もあります。そんな夏バテの解消法としてこのポカリスエットがまたやってきました。このポカリスエットを仮設にお配りしていただける団体がありましたら、プロジェクト結ぶまでご連絡下さい。

呼びかけ団体：プロジェクト結ぶ

ちひく3救援ぐるうぶ

SVA

阪神高齢者・障害者支援ネットワーク

お問い合わせ：プロジェクト結ぶ

TEL 0798-64-5829

< 仮設は今... >

西区編

2回目の夏を迎え、日差しも強くなってきた今の時期、訪問で仮設住宅を回っていると、去年付けたひさしだけでは日差しを防ぎきれず、軒先にすだれをかけたり、ひさしをもう一つとりつける仮設住宅が増えてきた。訪問しながら網戸のはずれを直したり、天井のずれを直したり。草ぼうぼうの仮設住宅のまわりを強い日差しの中かまを持って刈ってまわったり。けれど「ご苦労様。」という住民の方の一言にうれしくなり、暑さもどこかへ飛んでいってしまう。

夏本番、これから住民の方たちと一緒にがんばろうと思う。

(西神ニュータウンのといわれる住宅街のはずれにある西神第7仮設住宅。ここは西区で一番大きい1060戸。高齢者の率も高い。それだけにいろいろと課題を抱えている仮設住宅でもある。)

阪神高齢者・障害者支援ネットワーク 村山

阪神・淡路大震災 県外被災者の発掘と名簿登録にご協力下さいませんか？

震災後1年6ヶ月がすぎ、被災地で暮らす被災者にとっては少しばかりの光が見えてきたのかもしれませんが。というのは低額家賃(5年間の補助)の復興公営住宅のプログラムと低所得者層のために生活福祉貸付金制度(引越に必要な資金および、転居に必要な家財道具等を購入するための資金の貸付制度)の拡大が発表されたのです。しかし、これは仮設住宅の解消を第1に考えた行政の復興プログラムであるため、入居枠として仮設住宅入居者に6割、その他の被災者に4割といった仮設住宅入居者優先になっています。

現在県外で生活している人たちは12万人にもものぼるといわれていますが、兵庫県が県外被災者に広報を行っているのはわずか4,000名程だそうで、震災後県外にやむなく避難された人たちには、こういった大切な情報ですらほとんど入ってはきません。元の街に戻ろうにも情報がなくては全く希望がありません。また、そういった避難者であることでの差別問題に始まり、慣れない土地での地域との関わりなどに困っておられるという声があがっています。しかし、まだまだその実態は行政側もしっかり把握していません。そのためにもとにかく実態把握し、早急のフォローが必要ではないでしょうか。

とりあえず急がれるのは名簿作りになります。皆さんのまわりで被災地から避難している被災者に心当たりがございましたら、本人自身に次のフリーダイヤルで電話をして頂いて下さると非常に助かります。よろしくお願いいたします。

フリーダイヤル 0120-36-8833 市外・県外避難者ネットワーク
(電話で伝える内容は、名前、年齢、家族数、現住所、電話、被災した市です。)

<連絡先>

《市外・県外避難者ネットワーク》

〒550 大阪市西区江戸堀1丁目24-12-10 TEL06-443-3808

《阪神・淡路大震災「仮設」支援NGO連絡会》

〒653 神戸市長田区御蔵通5-5 TEL078-578-6922 FAX078-578-6923

また、県外避難者を支えるためには資金が必要です。カンパをお願いいたします。

郵便振替口座番号01180-6-68556(「仮設」支援NGO) *県外避難者と通信欄にお書き下さい

事務局より

未使用テレホンカード送って下さい!!!

事務局の電話代・FAX代(じゃりみち発信含めて)にテレホンカードが役に立ちます。お財布の中に眠っているテレホンカードを送って下さい!!

6/26~28に行われたボランティアセミナー「出会い・ふれあい・学びあい」は無事終了しました。ご協力頂いた方に感謝いたします。報告は後日致します!